



四小だより

令和7年12月24日号 No.9

いちよう

山形市立第四小学校
校長 樋口 潤一

<児童数 175名>

〒990-0055 山形市相生町4番37号 TEL 623-6019 FAX 633-9321

2025年 支えていただき、ありがとうございました！

—「自立した学習者」がますますたくましく育っています！—

80日間の2学期には、9月26日の「いちよう兄弟体験学習」、10月1日の「114周年創立記念式典」と、シンガーソングライター・庄司紗千さんのミニライブ、10月8～9日の6年生修学旅行、10月25日の「いちよう秋まつり」、11月14日の「いちよう音楽会」、12月3日の「自主公開研究会」（1年生と5年生が授業公開）、12月10日に「授業参観・子育て講演会・学級懇談会」と、次々に大きな教育活動を実施いたしました。その間、10月の個別面談・通知表配付も含め、保護者の皆様からご理解とご協力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。

12月3日（水）に開催した自主公開研究会には、県内各地から約50名の教員が参加してくださいました。その中には、学校の教育課程を午前中で切り上げ、マイクロバスを借り切って多くの先生方が一緒に研究会に参加してくださいました学校もあります。先生方の感想から、「1年生、5年生どちらの授業も、子どもたちの学ぶ環境が整っており、子どもたちが一人で、または仲間とそれぞれのペースで、自分が取り組みたい学習に向かう姿が印象的でした」、「1、5年生どちらも、45分間学び続ける姿が印象的でした。どうしたら四小のような子どもたちが育つのか、学校に戻ってからも考えていきたいと思いました」など、すべての子どもたちが自分の課題を解決するために、集中して根気強く学び続ける姿を見てくださったことがわかり、とてもうれしく思いました。

たくさんの先生方から価値を見出していただいたとおり、私たちは「自立した学習者」を育てたいと願い、日々試行錯誤を重ねています。一人一人の子どもがそれぞれの「学びたいこと」や「解決したい問題」を明確にもち、「どこから・どのように学んでいくか」という道筋を選択したり、難しい問題に出会ったら「どうすればこの問題を解決できるか」と知恵を絞ったり友だちと話し合ったりして追究し続けていく…こうした強い意志や継続的に取り組む態度こそ、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力（コンピテンシー）だと私たちは考え、研究と研修を続けています。そんな「自立した学習者」がますますたくましく育っていることに、喜びを感じています。

本校の先輩方も、「はじめに子どもありき」を合言葉に、「学校づくりの中心に研究をすえた学校」として、目指す授業や教育活動を実現するために、脈々と研究・実践を続けてこられました。私たちも、その精神を受け継ぎ、未来を生きる子どもたちにとって必要な資質・能力を育てる努力を重ねています。その私たちの思いを深く理解していただき、いつも温かく支えてくださっている保護者の皆様に、あらためて感謝を申し上げます。2025年も、本当にありがとうございました！よい年をお迎えくださいますよう、心より祈念申し上げます。（※裏面もご覧ください）

山形市立第四小学校
2学期 (2025.8.28~12.24) フォト・ダイアリー



9/26 いちよう兄弟体験学習 (山形市少年自然の家)



10/1 創立114周年記念 庄司紗千さんミニライブ



10/8~9 6年生修学旅行 (東京)



12/3 自主公開研究会 (1年生)



11/14 いちよう音楽会 (やまぎん県民ホール)



12/3 自主公開研究会 (5年生)

